

野田九条通信

2015年11月119号

野田・九条の会 事務局
Tel: 7122-0502



野田 九条の会

検索

憲法違反の「戦争法」を葬ろう

講演会

元レバノン特命全権大使が斬る！

安保法は抑止力になるのか

11/29(日)

13:30~16:00

中央公民館講堂

講師 天木直人さん

参加費 700円

を展開されています。安保法にも鋭い批判を展

天木直人さんは小泉政権の時、特命全権大使としてレバノンに赴任されました。二〇〇三年、イラク戦争に反対したため事実上外務省を解雇され、その後自由な立場で言論活動を続けておられます。今回の安保法にも鋭い批判

On ne lâche rien!

声を上げ続けよう



10月の野田・九条の会定例会では、安保法が成立してしまっただけでなく、廃止を目指し今後どのような行動を組み合わせるのか、話し合いました。来々月7月の参議院選挙に向けて、18歳からの新有権者も含めて地道にアピールしていきましょうと決めました。Uターンさせましょう。

19日には国会会場の総掛かり行動に参加します。また個人行動にも参加します。家や車にの意思を表すため、家や車に貼られる小型のシールも作ります。みんなの知恵を絞って、戦争のできる国への道を

今月の予定

11月3日(火・祝) 13:00~14:00
「安倍政治を許さない」ポスターを掲げよう全国一斉行動
樺のホール前 野田・九条の会

11月8日(日) 13:30~16:30
上映と懇談 映画「日本国憲法」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

11月9日(月) 18:00~19:00
9の日行動 安保法反対アピール
川間、七光台、清水公園 野田・九条の会
愛宕、梅郷各駅に集合

11月14日(土) 14:00~17:00
野田・九条の会定例会
「むのたけ 100歳の不屈 伝説のジャーナリスト 次世代への遺言」を視聴
中央公民館講座室

11月19日(木) 18:30~
私たちはあきらめない！
戦争法廃止！安倍内閣退陣！
国会正門前集会
国会議事堂周辺

11月27日(金) 13:30~16:00
上映と懇談
「女たちの太平洋戦争 ~従軍看護婦 激戦地の記録~」
樺のホール・第2集会室 子どもの未来を語る会

11月28日(土) 14:00~
上映と懇談
原発事故が引き起こす極限
映画「見えない雲」状況を描いたドイツ映画
北コミセン 川間九条の会

11月29日(日) 13:30~16:00
天木直人さん講演会 安保法は抑止力になるのか
中央公民館講堂 野田・九条の会

何力国もの大使館勤務の経験から、外から見た今の日本、安保法を語っていただきます。ぜひご参加ください。

知事承認の取り消し 政府 取り消し処分を停止・代執行手続きへ

癒やされぬ “魂の飢餓”

安倍政権は翁長沖縄県知事が行った辺野古埋め立て承認取り消しを執行停止し、知事に代わって取り消しを取り消す「代執行」の手続きに入りました。

翁長知事が知事承認取り消しという前例のない重い決断をした背景には、沖縄の「魂の飢餓」がありました。本土防衛のため多くの住民が犠牲にさせられ、戦後も一貫して基地の島にされた沖縄。「これ以上基地は造らせない」という細やかな「自己決定権」さえ政府にも本土にも蔑ろにされて来ました。この「魂の飢餓」は癒やされぬまま、今また辺野古埋め立てが「粛々と」進められようとしています。

9月19日、安保法案が可決された私たちが頭上を「粛々と」素通りしていきましました。この不条理に対し、私たちは憤りと悔しさ、そして無力感を感じま

ドキュメンタリー映画

『いこさばとどろみ』 戦場 止

12/4 10:30/14:30/18:30
(金) 松戸市民劇場ホール
チケットは田口まで 7129-4297

昨年「平和のつどい」の場で上映した「標的の村」の三上智恵監督が描く沖縄の今。辺野古で何が起きているのか、必見です。

た。ですがこの「飢餓感」を沖縄の人々は平和憲法下に復して来ずと抱いてきたのです。

「安倍政治を許さない！」という怒りが満ちています。しかし沖縄は「どうして沖縄だけが基地を引き受けなければならぬのか」と問いかけ続けてきたのです。安倍政治の不条理を糾弾しそれとは別の未来を描くのであれば、私たちも沖縄の「魂の飢餓」にだけ向き合ってきたのか、自身に問うことが必要ではないでしょうか。

一緒に行きませんか？
愛宕駅 16:07 発
柏行き先頭車両乗車

九条の眼 漂流し始めた日本

■ 係留ロープを断ち切った安倍政権

安保法の採決に至る流れは安倍政権発足時より周到に準備されていた。世間をアベノミクス一色に染めた裏には戦争できる国への意図が仕込まれていた。特定秘密保護法、国家安全保障会議の設置、集団的自衛権を容認する閣議決定、防衛装備移転三原則への転換と次々整備し、ついに念願の安保法採決へ漕ぎつけた。安倍政権は憲法 96 条の改憲規定三分の二条項を断念したあとと無用な衆議選を仕掛け、このとき最重要課題の安保関連は有権者に気づき難い自民選挙公約最後のページに掲げた。目論見は的中し有権者は絶対多数を与えてしまった。安倍政権は直ちに安保法を採決し、違憲の声を無視して国家権力を縛る係留ロープを多数党という驕りの斧で断ち切った。そして、以降も報道機関への圧力や記者クラブの抱き込みを謀りつつ、中国の脅威を煽り、抑止力という米国の軍事力に頼りながら戦場につながる海へと乗り出したのだ。

■ 海図なき自公政治

国民の関心を景気一本に集中させ絶対多数を得た自公は、米国議会で約束した解釈改憲を成就させた。しかし安倍政権では解決しがたい課題が山積しており、荒海への海図はない。新たな矢を放つと宣言したが、飛ぶ前からその矢羽は貧弱で狙いは定まっていない。GDP 600 兆円へ挑戦、出生率 1.8 への具体策は示さず、介護離職ゼロ策は真逆の介護報酬削減を決めている。掛け声だけの参議選対策であり、唸り音のみの鎗矢ではないか。辺野古新基地問題の解決は新たな航路を開くことである。沖縄県民の地方自治民主主義を取り戻すことであり、米国の言いなりの日米合同会議に依存する現政権には望むべくもない。来春には南スーダンへの自衛隊 PKO 派遣が迫り来る。駆けつけ警護、治安維持を行えば必ず戦闘事態は発生し、国民的議論は不毛となる。TPP に反対の自民党は復権するや公約を反故にし、参加へと舵をきった。単に食料品等が安くなるなどではなく、広範な国内産業に多大な負担と損失を負わせることになる。



参議選で航路に戻す

■ 参議選で航路に戻す

戦争法を積み込み漂流しはじめた日本を安全な航路に戻そう。自公は固定票と低投票率で絶対多数の議席を獲得していた。つまり野党はこれに対抗するには統一候補者で自民批判票をまとめ、更に安倍政治を許さない棄権票も取り込むことにより勝つことができる。目指すは有権者が迷わず投票できる候補を野党統一候補として立てることだ。共産党は立憲主義を守り安保法廃止と閣議決定を取消すことで纏まろうと柔軟姿勢を打出した。この提案を本気で受ければ、32 の一人区全員当選は不可能ではない。安倍政治への不満は日増しに高まっている。労働者派遣法であれば、自公は一生派遣で働かざるを得なくなる道を許した。身をもって厳しさを感じている有権者の心を捉えることだ。



■ 日本の新たな針路を決めよう

解釈改憲、戦争法採決をさせてしまった私たち主権者は、立憲主義を護り、平和憲法を維持、進化させる針路を以前と同じ論理では決められない。直ちに求められることは新たな考えも受入れ、柔軟に立ち向かうことではないか。十八歳新有権者が政治に参加する新たな社会が近づいている。二度と解釈改憲を許さない憲法への明文化も議論になるだろうし、新有権者の未知なエネルギーにも期待したい。私たちは自民党憲法草案とは対極となる平和憲法を進化させようとする努力を惜しまず、自身の考えを言いつつ他人の意見を聴けることを常としたい。まずは来夏に迫る参議選に向けて無関心層、無党派層に重大な局面を訴え、野党選挙協力でねじれ国会を甦らせることだ。戦争法廃止を目指す今、国会前、駅頭で決意を新たにしたいと思う。

片桐 直勝